

一般質問

**響庭野立入証明書
発行の見直し
について**
宮内 英明議員



方々の申請を受けて証明書の発行を行っている現状であります。

問 最近、農家の下柴、下草採取の必要性が薄れているが、立入証明は必要なのか。
答 企画部長 響庭野周 辺の住民皆様の入会慣行として、40 集落・約 7 百余名の

問 市内主要施設の視察研修で旧町村役場の議場が倉庫化しているが、不要物品の整理、処分（民間への無料譲渡などの有効活用）等今後の方針を伺う。

答 総務部長 不用物品の把握・整理に努め、学校等施設や自治会での有効利用を進めます。

問 中央教育審議会で検討の小中一貫校が東京で開設されているが、高島市での小中一貫校の必要性と学校設置を伺う。大学誘致についても併せ伺う。

答 教育長 「小中一貫校」の設置は現在考えていませんが、そのよさをどのように導入するかという構えで、今後の学校の在り方を探りたいと考えています。大学とは、連携する取り組みを進めます。

問 交通安全運動への取り組み内容が市になって薄れたのではないか、新入児への横断旗、警報ベルの配布が無かった。放置自転車対策では従来の活動ができていないが、今後の活動単位と内容について伺う。

答 土木交通部長 今後の交通安全運動はより効果の上がる運動となるよう関係者と協議を深めます。横断旗は不足箇所があり補充しました。

放置自転車対策は 6 月より各駅前駐輪場で年 2 ～ 3 回整理していきます。

**鳥獣害対策、災害対策、
市民文化の継承
について**
石田 哲議員



問 市は里山の自然保護と有効利用を推奨しているが、3 月議会終了後に取った獣害対策を問う。市民にとって政策が見えない、作物を作る意欲を失わせない対策を望む。

答 産業経済部長 県では既にサルの保護管理計画が策定され、シカの策定が進められています。引き続きクマの計画を立てる予定です。サルは約 3 千頭、シカは約 7 千頭生息を推定しています。シカは長期的には半減させる目標で、県に財政支援の要望を行っていきます。計画の公表は、決まり次第県広報とホームページに掲載する予定です。

問 防災対策に於いて益々その緊急度が迫ってきた、緊急時最も頼りになる地元の消防団員、自主防災組織の活動は大変心丈夫である。その観点からこれらの組織についての指導・育成方針を問う。小児化、高齢化により

若者が少なく、火災発生に於いても人数不足であり、地震現場での地元団員の活動は無くしてはならない組織と考える。市民文化祭に於いて児童・学生の同時展示がされてきたが過去の形式を残し且つ作品の常設展示施設の検出を望む。

答 消防長 消防団緊急時の出動数は約 55% 位ですが、合併により制約がなくなり行動し易くなりました。

問 自主防災組織、OB 会の設置など検討します。各集落の集会所の耐震診断は公共施設の次に計画します。

答 教育長 市展の同時開催は意義があり従来どおり開催できるよう調整しております。常設展示場の新設は困難ですが、安曇川文化芸術会館の問題と併せ検討します。

久電欄と同程度の材料費の補助を考えています。簡易電欄は県の補助金対象であり枠の拡

